



書名	著者名	出版社	出版年
私がフェミニズムを知らなかった頃	小林 エリコ	晶文社	2021
私たちはなぜ「女」を面倒に思うのか あるある女性の悩み	水島 広子	自由国民社	2021
コロナと精神分析的臨床「会うこと」の喪失と回復	荻本 快	木立の文庫	2021
優しいあなたが不幸になりやすいのは世界が悪いのではなく自業自得なんだよ	藤森 かよこ	大和出版	2021
大人になっても思春期な女子たち	大美賀 直子	青春出版社	2021
拝啓キュリー先生 マリー・キュリーとラジウム研究所の女性たち	川島 慶子	ドメス出版	2021
SNS暴力 なぜ人は匿名の刃をふるうのか	毎日新聞取材班	毎日新聞出版	2021
「負の感情」とのつき合い方 ケアの時代	鎌田 東二	淡交社	2021
失われた賃金を求めて	イ・ミンギョン	タバックス	2021
ブルシット・ジョブ——クソどうでもいい仕事の理論	デヴィッド・グレーバー	岩波書店	2020
さよなら! 一強政治——徹底ルポ 小選挙区制の日本と比例代表制のノルウェー	三井マリ子	旬報社	2020
多様性との対話 ダイバーシティ推進が見えなくするもの	岩淵 功一	青弓社	2021
「ハーフ」ってなんだろう?: あなたと考えたいイメージと現実	下地 ローレンス吉孝	平凡社	2021
「テレビは見ない」というけれど エンタメコンテンツをフェミニズム・ジェンダーから読む	西森 路代他	青弓社	2021
未来をつくるあなたへ (岩波ジュニアスタートブックス)	中満 泉	岩波書店	2021
アンダークラス化する若者たち——生活保障をどう立て直すか	宮本 みち子	明石書店	2021
東南アジアと「LGBT」の政治——性的少数者をめぐって何が争われているか	日下 渉	明石書店	2021
ジェンダー暴力の文化人類学	田中 雅一	昭和堂	2021
子どもの貧困とチームアプローチ“見えない”“見えにくい”を乗り越えるために	松田 恵示	書肆クラルテ	2020
新型コロナウイルススナースたちの現場レポート	日本看護協会出版会編集部	日本看護協会出版会	2021
ファッションインジャパン1945—2020流行と社会	島根県立石見美術館編	青幻会	2021
インドの代理母たち	ギーター・アラヴァムガン	柘植書房	2018
子育ての経済学 愛情・お金・育児スタイル	マティアス・ドゥブケ	慶應義塾大学出版会	2020
災害不調 医師が見つけた最速の改善策	工藤 孝文	角川新書	2021
社会を変えた50人の女性アーティストたち	レイチェル・イグノトフスキー	創元社	2021
画家たちのパートナー その愛と葛藤	千足 伸行	論創社	2021
韓国映画・ドラマ わたしたちのおしゃべりの記録2014～2020	西森 路代	駒草出版	2021
アニメーターはどう働いているのか 集まって働くフリーランサーたちの労働社会学	松永 伸太郎	ナカニシヤ出版	2020
スポーツとフーコー 権力、知、自己の変革	ピルッコ・マルクラ著	晃洋書房	2021
新編文学にみる女性像	宮本 百合子	新日本出版社	2021
男性性の探究	ラファエル・リオジエ	講談社	2021